

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」高松伏石校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	パーテーションなどでそれぞれが個別で取り組めるようにできている パーテーションで場合によって区切っている	利用者同士の距離が近く、コミュニケーションを取ることが容易ではあるが、周りの声や音に気を取られてしまう児童の場合にとっては厳しい環境と感じるので、しっかりとしたパーテーションがあると良い。
	②	職員の配置数は適切である	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・指導員を増やすべき ・一人ひとり支援の質を高めていくべき ・現時点では不足しているとは思わないが、指導員の育成を出来るような余裕がない。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・手すりなど設置されていない ・利用者向けの空間と指導員の控室に仕切りがない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に美化に力を入れている ・MTの後に掃除を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収納用具が少なく、常に決まったところに決まったものを置けるような環境ではないので、片付けやすい収納があると良い
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議などを通して共有している ・MT、ケース会議などで、職員全員で振り返りを行っている。 	

	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一番優先的に考えている ・定期的に保護者へ向けて評価表を配布してアンケートを依頼・回収している。 	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどで評価を掲示している 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いおこなっている 	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援研究所など定期的に研修へ参加している 	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内相談ケース会議などおこなっている。 ・アセスメントを職員全員で行っている 	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず目を通して ・遠城寺発達検査表やNCプログラムを参考にしながら支援を行っている。 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画作成の際にそこを基準として考えている 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児に合わせた支援をおこなっている ・定期的に支援計画の確認と計画に変更がないかすり合わせをしている 	

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用の方含め会議をおこなっている ・職員でケース会議を行っている。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に変更し児の興味関心を保持している ・様々な方向からプログラムの見直しをおこなっている ・迷ったときには話し合える環境ではある。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・特にコミュニケーション能力向上のために集団療育を月に数回取り入れるなどを行っている。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングを必ずおこなっている ・MT で時間などの確認をしている
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・おこなっている。できない時は後日共有している
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いをしている ・その日のうちに支援記録を終らせるようにしている ・担当した支援を各自記録している。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見などを汲み取っている ・半年ごとにモニタリングをおこなっている

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者もしくは管理者等が参画している ・管理者と指導員が出席し、「きらり」での利用者の変化を伝えていている 	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・リハセンなどと連携している ・必要であれば他機関と連携をおこなっている。 	
	㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当者なし 	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・妥当者なし ・病院のかかりつけ医などを書類に示し、有事に備えている 	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携を中心におこなっている。 ・不定期であるが幼稚園などと連携している。 	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の内容を必要があれば進学先に説明している。 	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議をとoshしておこなっている 	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		<ul style="list-style-type: none"> ・おこなえていない ・あまり地域との交流がない。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		<ul style="list-style-type: none"> ・おこなえていない
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを通しておこなっている 	

				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方と話し合い、家での様子などに共感、アドバイスをを行っている ・支援が行われたあとにフィードバックをおこない支援内容や今後の課題について共通理解を持っている。 	
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・おこなえていない ・ペアレントトレーニング関連の活動はまだ行えていない。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が説明している。契約時には必要な説明を行っている。
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングなどで説明して得ている。支援計画作成や更新時に同意を得ている。
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの後に必要な際におこなっている ・フィードバックで悩み対応を行っている。 ・フィードバックと同時に保護者からの悩みなどがあれば相談や助言、支援を行う。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の話し合いの場の準備を検討はしている
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい悩み事でも子どもたちの環境整備や支援員の言動にも配慮をおこなえている。また、保護者との連携も

				かかさずにおこなっている。		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや防災について掲示板や全体ラインについて子どもたちも含め配慮をしている ・パンフレットやチラシで広報している。 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・名前や住所など、その他にも家庭状況について子どもたちも含め配慮をしている ・外出先等はもちろん、家などでも利用者様の情報は出さない。日ごろより個人情報の含まれるフォルダは鍵付きの書庫に保管されている 	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉づかいや伝え方にも気を付けている 	・少しでもじっくり話を聞きたいと思っているが、時間の都合上、難しいことがある。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・まだおこなえていないが、消防や警察と連携してイベントなどでおこないたい 	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の災害がおきたときのそれぞれの役割の理解をしたり、事業所自体がおこなえているか保護者達に可視化している ・リモートでのマニュアル共有や実演を交えて 	

				訓練を実施できている。	
④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回行っている。 ・実際に避難先に徒歩で行き、確認等している。 ・定期的に訓練や訓練内容の共有を行っている。 	
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・それ以外にもアレルギーなども把握している ・持病についてアセスメントシートで把握している ・保護者との面談時にヒアリングを行っている。 	
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどで食料を使う際、事前に確認をとっている ・アレルギー等についてアセスメントシートで周知している。 ・食事の提供がないため該当なし。 	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルにまとめたり、職員同士でミーティングをおこなっている ・毎月各指導員よりヒヤリハットを集めて他エリアにも共有できるようになっている。 	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修はもちろん、それを実施している 	

				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に虐待防止研修を行っている ・定期的に虐待防止委員会にて検討会が開かれている 	
④7	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を作成するにあたって事前に説明をしている ・説明書等で周知し確認している ・事前の同意を含め支援計画にも記載されている。 	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」伏石校 保護者等数（児童数）：4(5) 回収数：3 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	1	0	0	換気などコロナ対策がされているか気になる	建物の都合上、換気できる場所が少ないですが、支援中は換気扇を回したり支援がない時間はドアを開けて換気したりするなどの対策を取っています。また、手指消毒の徹底や支援道具の消毒も支援後には行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	1	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	0	楽しくできるように工夫してください	温かいご意見ありがとうございます。きらりに来られた方全員が笑

							っていると思います。	顔で帰れるように支援プログラムも工夫していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	0	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	0	0	最初に丁寧に説明していただきました。	ご意見ありがとうございます。利用されている中で運営面や利用負担額等でご不明なことがありましたら管理者までご連絡ください。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	0	0	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	0	0	0	最初にアセスメントもしっかりしていただいて、共通理解ができていると思います。	年1回以上丁寧なアセスメントを行って指導員と親御さんとで共通理解を図れるように努めてまいります。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	0	いつも気にかけくださってありがたいです。	ありがとうございます。小さなことでも気になることがありましたらフィードバックの時間などでスタッフに相談していただけたらと思います。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	0	1	まだ通い始めたばかりでそういったつながりがあるのかよくわかっていません。	現在、高松伏石校では行っておりません。ニーズがあれば開催したいと考えております。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	1	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	0		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3	0	0	0	大好きで、とても楽しみにしています。	嬉しいお言葉をありがとうございます。「きらりに行きたい！」とってもらえるような事業所になるよう職員一同努力してまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3	0	0	0	大変満足しております。ありがとうございます。	これからも皆様に満足していただけるように努力してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。